

○5番（岩崎 博君） 皆さん、改めまして、こんにちは。傍聴の皆様、ご足労、誠にありがとうございます。議席番号5番、岩崎博でございます。議長より発言の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

先日、私も同行させていただきましたが、橋本町長におかれましては、アルゼンチンオリンピック委員会より、昨年夏の東京五輪でアルゼンチン代表のホストタウンを務めたことも縁となって、最高位の名誉賞オーダー賞を、同国のマウリシオ・マクリ前大統領に次いで史上2人目の受賞となりましたことを心からお喜び申し上げます。皆さんもご存じのとおりかと思いますが、野本家とアルゼンチンの交流が、長田小、同国の交流となり、長らく友好関係を築いてまいりました。私も日本側で交流を紡いできた長田小学校の卒業生として、大変うれしく思います。今後のさらなる友好関係の深化を願ってやみません。

それでは、ただいまより通告に従いまして、町政に対する一般質問をさせていただきます。アルゼンチンとの今後の交流について、境古河インターチェンジ周辺の開発についての2項目6点についてお伺いします。

まず、1項目目のアルゼンチンとの今後の交流についてですが、先ほども触れましたが、アルゼンチン共和国との御縁をつくられたのが、ペリー黒船来航の際、一行にモンテネグロ氏というアルゼンチン人船員がおり、この方を幕府の役人であった境町出身の野本作次郎氏が接遇したことをきっかけにして、2人は交流を深めていきました。1933年にペリーの孫が来日した際、当時の関係者の子孫を探すことになり、野本作次郎氏の孫の作兵衛氏と、当時駐日アルゼンチン公使だったアルトゥーロ・モンテネグロ氏が秘書官を通じて知り合い、そこから交流をしたとのこと。その際は、モンテネグロ氏の建設費の寄附によりモンテネグロ会館が建設されましたが、今橋本町長の手により、世界的建築家隈研吾氏の設計の新しいものに生まれ変わり、新たな観光交流の場となっているのは、皆様もご存じのことと思います。

また、先日アルゼンチン共和国を訪問した際には、ブエノスアイレス市のスポーツ庁を訪れ、文化、スポーツに関する交流を深めるべく、覚書を交わされたことと思いますが、今後一層友好交流が深まればとの思いであります。

以上を踏まえ、3点、当町のお考えをお伺いいたします。1点目が、さきにも触れたようにブエノスアイレス市との文化、スポーツに関する交流を深めていく方向かと思いますが、これまでの長い交流の歴史や人の往来を考えますと、より一段踏み込んだ友好都市となり、さらなる交流をし、相互理解、子供たちの国際交流を深めることも、あらゆる可能性を広げることにつながると考えます。そこで、今後友好都市協定を締結する用意があるのか、町の考えをお聞かせください。

続いて、2点目が、コロナ禍以前に実施されていた小学生の派遣について、町の考えをお聞かせください。子供たちにとっては大変貴重な経験で、とても好評を得ていたものと考えており、世の中的な状況が許せば、ぜひ派遣してあげたいというのが親心でもあるかなと思います。

そして、3点目が、スポーツ交流についてですが、オリンピック後もホッケーの選手が来日し、当町のホッケーフィールドでプレーをされていたかと思います。そのほか先日アルゼンチンに伺った際に、南米の日系人の大会が来年同国で開催されると伺いましたが、日系人コミュニティーの活動とともに、スポーツそのものが活発である印象を受けました。この際、スポーツ分野における交流についても積極的に行うことで、感受性豊かな子供の育成や生涯スポーツに取り組む方々の意欲の向上につながるものと考えます。そこで、今後のスポーツ交流の見通しや考えについて、町の考えをお聞かせください。

続いて、2項目め、境古河インターチェンジ周辺の開発についてですが、これまで町政報告等でお伺いしたり、起工式に出席したりしておりますが、インター周辺は物流施設が現在建設されており、完成すれば多くの固定資産税が町に入ることとなり、町の財政に寄与するものと考えております。そこで、3点、当町のお考えをお伺いいたします。

1点目が、改めて企業誘致の現状についてお聞かせください。また、町への増加する税収等も併せてご教示ください。

続いて、2点目の通学路の整備に関して、現在国道354号、古河境バイパスの工事も進んでおり、同バイパスが開通すれば、より長田小学校周辺の通学路は交通量が増加するものと考えます。したがって、グリーンベルトの維持、ガードレールの設置、新たな歩道橋の設置など、安全対策を特に考える必要がある地域かと思いますが、町の考えをお聞かせください。

最後に、3点目の圏央道の4車線化に当たり防音壁の設置について。地域住民から騒音や飛び石等についてどうにかならないものかと相談を私も受けている状況ですが、国への要望等も必要なものと考えます。このようなことに対し、町の考えをお聞かせください。

以上、2項目の1回目の質問といたします。執行部の誠意あるご答弁をお願いいたします。
○議長（倉持 功君） 最初に、アルゼンチンとの今後の交流についての質問に対する答弁を求めます。

秘書公室長。

〔秘書公室長 忍田 博君登壇〕

○秘書公室長（忍田 博君） それでは、岩崎議員の1項目め、アルゼンチンとの今後の交流についての1点目、友好都市の締結についてとのご質問にお答えいたします。

境町は、アルゼンチン共和国とは90年近く続く交流がございまして、平成元年6月に長田小学校で第1回目のアルゼンチンの日の集いが開催されましてから、コロナ禍の影響により令和2年度の集いは中止となりましたが、それ以外は毎年開催されまして、駐日アルゼンチン大使等を招いて、児童等と交流するなど、これまで計33回開催し、交流を図ってきたところでございます。また、平成28年6月にアルゼンチン共和国オリンピック選手団のホストタウンとしまして、当町が国に認定、登録を受けたことを契機に、これまで交流を深めてきました長田小学校の児童をはじめとし、同国への児童派遣事業等を実施しまして、相互の児童の交流深化を推進するとともに、当時のマウリシオ・マクリ大統領などからのご要望とご提案に基づき、オリンピック基準のホッケー場やテニスコートなどを新設したこと

や、東京 2020 オリンピックでは、総勢 100 名の同国選手団の事前キャンプ受入れを実施するなど、スポーツ交流も図ってきたところでございます。

このような活動に評価をいただき、町長がアルゼンチンオリンピック委員会より招待を受けまして、10月28日から11月3日までの7日間の日程で同国を訪問し、同委員会のマリオ・モッチア会長よりオーダー賞を贈呈いただきました。この賞は同委員会が個人に贈る最高位の名誉勲章で、マクリ前大統領に続いて、町長が史上2人目の受賞と伺っております。

また、今回の訪問で同国の首都であるブエノスアイレス市と今後の多様なスポーツと文化交流を通じて、両市町民のために緊密な友好協力をするなどことを目的としまして、スポーツと文化を中心とした友好協定の締結式も執り行ってきたところでございます。

今後につきましても、ホストタウンとしてさらなる推進を図るため、当町とアルゼンチン共和国との関係をより強固なものとし、スポーツ交流等各種交流を推進してまいります。また、来年は日本と同国が外交関係を結んだ日亜修交通商航海条約から125年目であり、同国オリンピック委員会の創立100周年の記念の年でもありますので、首都ブエノスアイレス市と友好都市協定の締結を目指しまして、交流深化に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） 次に、教育次長。

〔教育次長 栗原恵子君登壇〕

○教育次長（栗原恵子君） 岩崎議員の1項目め、アルゼンチンとの今後の交流についての2点目、子供の派遣についてのご質問にお答えいたします。

児童のアルゼンチン派遣につきましては、平成28年10月に長田小学校5、6年生の代表者6名を派遣したのを初めとしまして、平成29年度からは町内5校全ての小学校から参加希望者を募り、平成29年度、30年度には、5、6年生の代表者12名、内訳でございませうが、平成29年度は長田小6名、境小2名、猿島小1名、森戸小2名、静小1名、平成30年度は、長田小が6名、境小3名、猿島小1名、森戸小1名、静小1名を、平成31年度には13名、内訳は長田小5名、境小5名、猿島小1名、森戸小1名、静小1名の児童をそれぞれ派遣させていただきました。派遣中はアルゼンチンの家庭でホームステイを行い、ホストファミリーの方々と過ごすことで、日本との生活様式の違いなどを体験するとともに、両国の児童が様々な場面で積極的に言葉の壁を超えて交流を深めてまいりました。

しかし、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童派遣事業は実施できていない状況でございませう。来年度はアルゼンチン共和国大使館やアルゼンチン茨城県人会など、関係機関と調整を図り、児童派遣事業を再開し、子供たちの国際感覚を高められる環境づくりに努めたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） 次に、企画部長。

〔企画部長 佐野直也君登壇〕

○企画部長（佐野直也君） 改めまして、こんにちは。それでは、岩崎議員の1項目、アル

ゼンチンとの今後の交流についての3点目、スポーツ交流についてのご質問にお答えをいたします。

境町は、先ほどの答弁にもございましたが、アルゼンチン共和国と90年近く交流がありまして、平成28年6月に東京2020オリンピックの事前キャンプ誘致等を目的に、アルゼンチン共和国のホストタウンとして、国の認定、登録をいただいたところでございます。

これまで実施してきた主なスポーツ交流につきましては、まず令和元年6月に、2016リオデジャネイロオリンピック女子柔道48キログラム以下級の金メダリスト、パウラ・パレット選手らが当町を訪れ、小中学校の柔道部員たちと境一中の武道場にて練習するなどの交流を行いました。

その2か月後の8月には、日本武道館で開催されましたパウラ選手たちが出場しました2019世界柔道選手権東京大会に、力善さかい道場の児童や境一中柔道部生徒たちと応援に行きまして、交流を図ったところでございます。

また、令和元年11月24日から29日までの日程で、熊本県で開催された2019女子ハンドボール世界選手権大会の事前キャンプとして、アルゼンチン女子ハンドボールチーム23名が来町しまして、合宿を行っていただきました。この11月24日には役場の大会議室で開催されましたチームの歓迎式で、長田小学校の児童から直接メッセージ入りの国旗を贈呈するなどの交流を図ったところでございます。

さらに、昨年開催されました東京2020オリンピックでは、ホッケーや柔道、バレーボールなど、100名のアルゼンチン選手団の事前キャンプを受入れ、コロナ禍で直接選手と触れ合うことはできませんでしたが、柔道のパウラ・パレット選手と境一中柔道部員とをオンラインで結び、質問交換や境一中柔道部員から、パウラ選手へ応援メッセージ入りの寄せ書きの紹介やエールを送るなど、交流を図ったところでございます。

また、ホッケー女子におきましては、見事銀メダルを獲得し、選手からは境町での事前キャンプが選手一人一人の原動力となり、メダルにつながったとの感謝のメッセージもいただいたところでございます。

さらに、今年の8月には、東京都品川区の大井ホッケー競技場で開催されたホッケー日本代表の国際親善試合であるSOMPO・JAPAN・CUP2022に出場する女子日本代表さくらジャパンと、女子アルゼンチン代表の試合において、町内の小学校児童25名がエスコートキッズとして、選手と一緒に試合会場に入場するなど、事後交流として東京2020大会時にはかなわなかった直接の交流を図り、親睦を深めたところでございます。

今後のスポーツ交流につきましては、オリンピックの事前キャンプでは来町できなかったテニスにつきまして、来年の9月から10月頃に日本で開催されますテニスの楽天オープン、または東レパンパシフィックオープンなどに合わせ来日するアルゼンチンのテニス選手を境町に招聘し、エキシビジョンマッチや地元の子供たちへのテニス教室の開催などを計画してまいりたいというふうに考えております。

また、日本ホッケー協会等と連携し、今年夏に開催したSOMPO・JAPAN・CUP

のような大会に、2024パリオリンピックに向け強化を図るアルゼンチンホッケーチームを招聘し、さくらジャパンとのマッチなども計画してまいりたいというふうに考えております。

今後ともスポーツ交流を幅広く定期的実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

岩崎博君。

○5番（岩崎 博君） 先ほどのご答弁ありがとうございます。ブエノスアイレス市との友好都市締結に向けて、当町のほうでも考えておられているということで、これを、相手があることなのであれですけれども、子供たちの派遣、こちらのほう今までやっておりましたが、コロナ禍が明ければ、派遣のほうも考えていただけるというようなことで、子供たちの派遣の人数、今まで10人ちょっとだったと思うのですが、同じぐらいの規模でやっていただけるのか、そしてまたその友好都市関係ができれば、また違う事業もできるのかなと思うのですが、そこら辺のところ何かあるようであれば、相手先もあると思うのですが、分かる範囲でよろしいので、ご回答のほうよろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） 質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、岩崎議員さんのご質問にお答えします。

来年、いつも夏休み頃に子供たちを派遣するわけでありましてけれども、多分海外に行くと、陰性証明だとか、ワクチンを接種したとか、そういうことが条件になってくるとは思うのですけれども、そういった子たち、前回も12名でありますので、来年度も12名を派遣したいというふうに思っておりますし、先ほど答弁の中にありましたけれども、来年はオリンピック委員会の100周年ということで、12月31日に来年のイベントを開くので、ぜひ境町の皆さんに来ていただきたいという話をしていましたので、もし僕が行けないときには、岩崎議員に代表して12月31日アルゼンチンに行っていたかとありがたいななんて思っております。本当は議長が僕の代わりに行かなくてはならないというふうに言っていたけれども、岩崎議員が質問したのも何かの縁でしょうから、子供たちが行く夏休み、さらには12月31日、2回来年はアルゼンチンに行くタイミングがあるのではないかと考えておりますので、地元長田の議員さんとしてご参加をぜひして、子供たちの支援をしていただければというふうに思っておりますので、しっかり、やはりコロナで3年間行けなかったときに子供たちに聞くと、アルゼンチンに行きたいという声を、アルゼンチンの日の集いするときにも、行きたいかと聞いたら、やはり行きたいとか、やはり6年生なので、6年生だともう行けないので、行きたかったとか、それを目標にいろいろ頑張ってきたなんていうお子さんたちいたので、やはりそういう子たちもうまく、例えば中学校に行っても参加できるようなとか、議員さんたちとも相談しながら何か救えるような、そういうことも考えていきたい

というふうには思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対して質問はございますか。

岩崎博君。

○5番（岩崎 博君） ご答弁ありがとうございます。先ほどのアルゼンチンの件、前向きにちょっと考えさせていただこうと思います。それと、先ほど町長もおっしゃっていましたが、やはり子供たち、本当にアルゼンチンに行くのを楽しみにしていた世代が、なかなかコロナ禍で行けないということで、本当に残念だったというところで、また中学生とかそこら辺も考えていただいただけということで、大変うれしく思っております。

また、先ほど答弁いただきましたが、スポーツ交流に関しても、テニスが今度来るということで、境町 2020 仕様のテニスコート、そしてホッケー場とありますので、テニス以外にも何かこちらに来たときに、子供たちや町民の方が参加できるような、そういった交流の事業も、時間とかタイミングがよければ企画していただければなと思います。

これで、1項目めの質問は終わりにさせていただきます。

○議長（倉持 功君） これでアルゼンチンとの今後の交流についての質問を終わります。

次に、境古河インターチェンジ周辺開発についての質問に対する答弁を求めます。

最初に、副町長。

〔副町長 野尻智治君登壇〕

○副町長（野尻智治君） 改めまして、こんにちは。岩崎議員の2項目め、境古河インターチェンジ周辺の開発についての1点目、企業誘致の現状についてとのご質問にお答えいたします。

境町では、圏央道境古河インターチェンジ周辺開発と企業誘致を将来の町の発展に欠かすことのできない重要な政策として、平成26年から取り組んでおります。まず、開発エリアでございますが、境古河IC周辺地区と猿山・蛇池地区の2地区を選定し、新たな産業用地整備を進めてまいりました。

初めに、総面積24.6ヘクタールの境古河IC周辺地区でございますが、地区内の第1街区におきまして、令和3年2月に最初の誘致企業となるウヤマ産業株式会社の関東ロジスティクスセンターが操業を開始しております。また、第6街区におきましては、大和ハウス工業株式会社の大型物流施設DPL境古河の建築工事が本年10月に着工され、竣工予定は令和6年4月と伺っております。

次に、総面積約10.1ヘクタールの猿山・蛇池地区でございますが、平成27年7月に地元地権者による協議会が結成され、令和3年12月には株式会社大洋が開発許可を取得し、令和4年6月に日本GLP株式会社の県内最大の物流施設となるGLP境古河の誘致が決定しております。なお、本地区の造成工事につきましては、年内の着手が予定されており、GLP境古河の建築工事は令和5年10月の着工予定、竣工予定は令和8年10月と伺っております。

さらには、米国不動産サービス大手のC&Wグループの日本法人クッシュマン・アンド・

ウエイクフィールド・アセットマネジメント株式会社の大型物流施設LF境古河の町内への進出が決定いたしております。

これら大手物流企業3社の誘致によりまして、約1,000人の雇用創出と年間約4億円の固定資産税の増収が見込まれております。圏央道境古河インターチェンジ周辺では、圏央道の4車線化と国道354号バイパスの整備が進むことから、これまで以上に企業の進出需要が高まっております。この機会を逃さず、さらなる産業用地の創出と企業誘致を推進いたしまして、新たな雇用の創出と税収の増加に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） 次に、建設農政部長。

〔建設農政部長 松本隆弘君登壇〕

○建設農政部長（松本隆弘君） 改めまして、こんにちは。続きまして、2点目、通学路についてのご質問にお答えいたします。

境古河インターチェンジ周辺の開発につきましては、今年度に区画整理事業が完了し、昨年度から操業が始まったウヤマ産業株式会社に加え、新たな物流施設としまして、DPL境古河の建築が始まったことから、これまでに比べ、出入りするトラックや建築に伴う工事車両等も増加しているところでございます。開発区域の近くには長田小学校があり、通学路とする主要町道には、歩道が片側のみの部分ではありますが、整備されており、子供たちの登下校時などに利用されております。車道につきましては、大型車両などの交通量の増加に伴い、インターチェンジにアクセスする道路の損傷が激しいことから、道路ストック整備事業におきまして、長田小学校西側道路を、グリーンベルトを含めて路盤改良舗装工事を実施したところでございます。

歩道部の安全面につきましては、歩道路盤のへこみによるつまずきなどでけがをしないように、舗装及び側溝の破損等は発見次第早急に修繕の対応を行ってまいります。

また、圏央道の4車線化、国道354号バイパスの整備が進捗することにより、新たな企業の進出や開発などが見込まれることから、子供たちの安全面を確保する上で、歩道の整備や街灯の設置などにつきまして、町といたしましては指導してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、蛇池地内のインターチェンジ東側付近の国道354号境・岩井バイパスと町道の交差点に、かねてからご要望をいただいております歩道橋の設置につきましては、茨城県境工事事務所において、令和4年度に設計業務を行っており、令和5年度から工事に着手すると伺っておりますので、ご報告申し上げます。

次に、3点目、圏央道の4車線化に当たり防音壁の設置についてのご質問にお答えします。圏央道につきましては、境古河インターチェンジから久喜白岡ジャンクションまでが平成27年3月29日に開通し、境古河インターチェンジからつくば中央インターチェンジまでが平成29年2月26日に、それぞれ暫定2車線として供用されてきました。また、4車線化の工事につきましては、久喜白岡ジャンクションから幸手インターチェンジ間と、境古

河インターチェンジから坂東インターチェンジ間におきましては、令和5年3月末を目途に4車線化が完成すると伺っております。

境町におきましても、開通以降、山崎地区をはじめとする沿道町民の方から、夜間や早朝時の通過車両による騒音や飛び石に対する苦情の声が寄せられていることから、4車線化の工事完了に合わせて、防音壁の設置につきまして、国土交通省北首都国道事務所に設置に関する要望を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

岩崎博君。

○5番（岩崎 博君） ご答弁のほう、ありがとうございます。この企業誘致の件ですが、4億円税収が増えるということで、大変喜ばしく思っております。なかなか周りのほう、町のほうで広報紙等で告知等とか、いろいろ情報は出していると思うのですが、猿山・蛇池地区とか、あそこら辺はいつぐらいから始まるのか、もしそういった事業が大体いつ頃かなと分かって、タイミングがいいときに、もし広報紙とか何かそういうので告知方法とか、何か考えているようであればお聞かせいただければと思います。

○議長（倉持 功君） 質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、岩崎議員さんのご質問にお答えします。

令和4年の6月、7月合併号、先ほども質問の中にありましたけれども、この5ページに、GLPについては、第1というほうが令和5年の10月から令和7年4月予定と、GLPの2というほうが、令和7年の4月から令和8年の10月と書いてございます。クッシュマンのほうについても、令和5年から始まって令和6年の末には完成させたいということで工期が書いてございますので、もっと詳しく出したほうがいいのかなのか、企業がやるものですから、我々誘致をしてやっていますけれども、例えばDPL、大和ハウスさんのところも組合があって、組合が主体でやっている。その猿山・蛇池についても組合があって、組合が主体でやっているところを我々が応援しているという形でありますので、今回こうやって1回出してありますけれども、まだまだもっと出したほうがいいということであれば、出していきたいというふうには思っていますので、議会の皆さんと相談しながら情報を出していきたいというふうには思っていますので、よろしく願いいたします。

○議長（倉持 功君） 答弁に対して質問はございますか。

岩崎博君。

○5番（岩崎 博君） 告知というのは、新しいもし何か変わったようなことができたときでよろしいかなと思っております。すみません、ちょっと分かりづらい質問で申し訳ありませんでした。

あと、先ほど歩道橋とかいろいろと前に、今年に入ってからですか、要望のほう上げていただいたというのは伺っておりましたが、そちらのほうもやっていただけるということで、

大変安心いたしました。なかなか国だったり、県だったり、ネクスコだったり、いろいろ絡んでくるので、本当にそういったところを町のほうでしっかりとやっていただけて、大変うれしく思っております。

また、何かこの国道354号だったり、圏央道だったり、そこら辺がだんだん開発が進んできましたけれども、いろいろと子供たちの安心安全のために通学路の整備等とか、いろいろとやっていただけるということで安心いたしました。

あと、この防音壁のほうですが、こちらもやっていただけるということで、今要望していただいているということですか……

〔何事か言う者あり〕

○5番(岩崎 博君) これから要望ということですか、こちらのほうもなかなかやはりネクスコとか、そういうのが絡んでくるのですが、要望として、大体つけるかどうかというのはなかなか、向こうも、相手もあることだと思うのですが、そこら辺どんな感じなのか、ちょっと分かる範囲でよろしいので、お聞かせいただければと。

○議長(倉持 功君) 町長、橋本正裕君。

○町長(橋本正裕君) それでは、岩崎議員さんのご質問にお答えします。

今現状、境町、坂東市、常総市、あと五霞町、4つでそういったやはり防音壁、今までは環境基準で、何デシベル以上でないとならないのですよと、結構はじかれたのですけれども、今回はちょうど地元の永岡代議士も文部科学大臣ということで、そこを通して国土交通省のほうに4自治体で要望に行くという形で今調整をしているということでもありますので、議会のほうも一緒に足並みそろえて要望していくということでご協力をいただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

○議長(倉持 功君) 答弁に対し、質問はございますか。

岩崎博君。

○5番(岩崎 博君) 質問ということではありませんが、その国道354号だったり、圏央道の防音壁だったりというのを町のほうでしっかりと取組をしていただけるということなので、本当に町民の皆様方も安心したと思います。

以上で質問のほうを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

○議長(倉持 功君) これで岩崎博君の一般質問を終わります。